



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

避難訓練で考えること



今回は、予告なし、休み時間における避難訓練でした。

中休みが始まり、しばらくしてのサイレンです。運動場で遊んでいる子供、図書室にいる子供と様々でしたが、子供たちはサイレンと同時に、運動場に集まってきました。予告なしにもかかわらず、前期訓練より1分弱程度時間を短縮することができました。

運動場では、私と係の話、消火訓練の見学を行いました。

以下、当日の私の話です。

まず、大切なことは、自分の命は自分で守るということです。そのために、普段からやっておく大切なことを2つ言います。

まず、1つ目は、『人の話をしっかりと聞く』ことです。

話は、目と耳と心で、しっかりと聞く習慣を身につけておかないと、いざという時に慌ててしまい、大切な話や指示を聞きもらしてしまいます。皆さんは、放送のチャイムが鳴ったら、その場に止まって、聞いていますか。今日の放送は聞けましたか？とても大切なことなのですね。今日は「運動場に避難しなさい。」の放送から、全員が避難するまで、3分26秒でした。今年の5月に比べると1分程短くなりました。とても素晴らしいことです。

2つ目は、『落ち着いて行動する』ことです。

避難する時、慌てていると、階段でつまずいたり、友だちにぶつかったりして大けがをしてしまいます。

最近、怪我をすることが多くなっています。何事も落ち着いて行動することが大切なんです。”おさない”や”はしらない”は、どうでしたか、守れましたか。

ただ、校長先生がこの運動場にいると、お話しする声が少し聞こえてきました。”しゃべらない”はどうだったのでしょうか。一人でもルールが守れないとみんなが迷惑をします。命に関わることだと思って、今日できなかった人は、次は絶対に守ってくださいね。

この2つは、どちらも、いざという時に自分の命を自分で守るための大切なことです。そして、2つとも、学校で授業中や休み時間に練習できることです。毎日の生活の中で頑張ることが、いざという時に、自分の命を守るのです。

これで、校長先生の話が終わります。

このことを受けて、30日(月)の全校朝会では、再度、この2つのことを今度は、学校の目指すめあてから、子供たちに考えさせています。同じことを違った角度から、繰り返し伝えることの大切さを感じています。

